

社会保険労務士法人ハーモニー  
代表社員

# 徳永康子氏



▲徳永康子代表

## 家族で描いた夢を叶えた キャリアアップができる社労士事務所 ～互いに感謝の気持ちで一人一人の個性活かす～

社会保険労務士事務所の法人で県内最多の従業員数を誇る「社会保険労務士法人ハーモニー」は、より良いサービスが提供できる社労士としてキャリアをアップするために、厚生労働省主催の「グッドキャリア企業アワード2018イノベーション賞」を受賞しました。さまざまな取り組みに注力し、エネルギーに前進を続ける徳永康子代表社員にお話を伺いました。

### 徳永康子氏 Profile

とくなが やすこ / 1951 (昭和26) 年1月12日、市川市生まれ。短期大学卒業後、21歳で結婚。94 (平成6) 年、社会保険労務士試験合格。97 (平成9) 年、社会保険労務士登録。同年11月、徳永社会保険労務士事務所開業。2013 (平成25) 年、法人化し社会保険労務士法人ハーモニーに組織変更。2015 (平成27) 年、東京オフィス開設。



▲社会保険労務士法人ハーモニーの皆様



▲法人入口

〔DATA〕

社会保険労務士法人 ハーモニー

代表社員 徳永 康子

千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟14階

☎043-273-5980

## 企業の人事・労務に幅広いサービスを提供

転勤族の妻として母として  
資格取得し模索する日々

私は21歳で結婚し、転勤族の夫と全国10カ所以上に転居をしました。女性が働く場所が限られていた時代、転居先で続けられる仕事を探しては、自分に何ができるかを考え続けました。高校時代に弟を事故で亡くした経験から、せっかくなら育ったのだと思います。長男を出産後に保育士資格を取り、生保レディや料理教室の指導者を経て、長男が大学に進学してから宅地建物取引主任者に合格。その後、9カ月間集中的に勉強して社会保険労務士に一発合格しました。将来は夫が行政書士資格、長男が税理士資格を取得して「3人で共同事務所を開こう」と約束しました。開業すれば転勤もなく、家族はもちろん高齢になった両親も一緒に暮らせます。そんな夢を描いた矢先に夫が47歳で突然死。夫の過労死を申請した妻として、「労働環境を良くする社労士として社会に貢献したい」と2年後の1997年に「徳永社会保険労務士事務所」を開きました。

ハーモニーを大切に法人化  
クラウドサービスを有効活用

2013年、60歳になり、いずれはソフトランディングして若手の力を借りていこうと「社会保険労務士法人ハーモニー」として法人化しました。一人一人の個性を活かしつつ、美しく感動を与える音色が響く事務所にしようにと思いを込め、名称やロゴ、経営理念、行動指針は皆で話し合っただけでした。社労士が行う社会保険手続や助成金申請、就業規則作成や賃金制度、年金相談はもちろん人事・労務について提供する幅広いサービスの中には、企業の労務監査を自社で商品化した「ロウムドック」や、新しいかたちのセミナー「ロウムカフェ」があります。また働き方改革に対応した勤怠システム「Nettode就業」も県下で一番早く導入しました。現在はほとんどの社会保険手続を電子申請で行います。安価で使いやすく設定できるクラウドサービスを顧問先が使いこなせるよう、数年かけてノウハウを構築したので、給与計算や勤怠管理についてすでに多くのお客さまがクラウドを活用されています。

す。今年事務所でもRPAも導入します。

県下最大30人の従業員が  
コンサル業務や講師業にシフト

お客様の役に立つ社労士として、これまでご縁のあった方には、必ずメールマガジン「事務所ニュース」を継続してお送りしています。現在の顧問先は300社超、従業員数は30人と、同業の法人では県内最多です。近年は事務所全体でコンサルタント業務にシフトし、社員一人一人が人事労務に関する研修やセミナーの講師を務められるよう、常にレベルアップを図っています。働き方に関して16年、ワーク・ライフ・バランスを大切に、誰もが働きやすい職場を目指した取り組みが評価され、次世代育成支援対策推進法に基づき、厚生労働大臣より子育てサポート企業として「プラチナくるみん」認定も受けています。



▲グッドキャリア企業アワード受賞



▲幕張オフィス

## 生かされたことに感謝の心をもって

安心して休める職場環境  
互いにビジョン持ち働きたい

困った時に安心して休める職場環境なら、従業員は頑張れる時に埋め合わせをしてくれます。締め切りがあれば従業員同士が仕事を融通し合い、できる人が代わりにやる。そんな信頼関係がしっかり構築できています。

私が代表として事務所を続けていけるのも、従業員がいい仕事をしているおかげです。人間、誰でも長所と短所があるのです。お互いのいいところを伸ばすというのがうちの経営理念。それには、お互いに感謝の気持ちが必要です。

「袖振り合うも多生の縁」で、夢を描いてくれる人と一緒に、お互いにビジョンを持って働いていきたいですね。自分が生かされた証として、夫や弟の

ぶんまで、頑張れるだけ頑張りたい。働きたい職場づくりのお手伝いができる社労士として、みんなの力を借り実現したい、だからこそこの「ハーモニー」です。

### 受賞や認定のノウハウ提供 事業承継でも顧問先を支援

今、目指すのは「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」(事務局・人を大切ににする経営学会)の受賞や、女性活

躍推進法の改正にともない創設された厚生労働大臣による優良企業(プラチナえるぼし)認定ですね。受賞に向けた申請ノウハウを構築できれば、受賞を望む顧問先のサポートもできます。

今後あらゆる業種で、さまざまな手続はAI化が進み、簡素化されていくはず。企業の手続き代行だけでは、社労士は生き残っていきません。事務所を開いて20年以上経ち、おつきあいの長い顧問先の社長が高齢になって事業承継を考える事例も増えました。私も69歳になり、自社の事業承継も真剣に考え、今春、事業承継士の資格を取得しました。仕事の間口がさらに広がれるきっかけになればと思います。

## 徳永代表社員 Q&A

Q 休日にはどんな趣味を楽しみますか?

A 以前はよくゴルフをしましたが、最近は陶板浴へ行っています。体が温まりますよ。国内、海外とも、旅行にもよく出かけますね。

Q 愛読書は?

A 子どもの頃は図書館に通い、さまざまな本を読破しました。「赤毛のアン」シリーズが大好きで、少女時代のアンに自らを重ね合わせ、奮起した時期もありましたね。

Q 座右の銘は?

A 「門を叩け、さらば開かれん」。ビジョンを持ち、門を叩かなければ何も始まらない、わからない。何事も、やりたいのなら叩いてみよう。



▲トロフィーを手にする徳永代表